

ワンストップ 支援

JDC「地域包括ケアの深化・地域共生社会の推進を踏まえた『ハイリスク者支援のための連携支援手引き』普及推進事業」
(厚生労働省 平成29年度 自殺予防対策事業)

参加費無料

を考える地域セミナー

川崎市「地域包括ケアシステムにおける自殺対策研修会」と共同開催

多重的な困難をかかえ、自殺リスクが高まった人々への支援については、地域レベルで、より包括的なワンストップ支援を行うための連携を強化していく必要があります。そのためには、困難をかかえた人々の支援に関して、各領域で使用されている“ことば”や、実践されている支援アプローチ、連携方法などを、地域の関係者の中で共有することが重要となります。

本セミナーは、地域の関係者が様々な領域の情報を共有し連携しながら包括的な支援が実践できるようになることを目的に、JDC（日本うつ病センター）が作成した連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』の活用方法を学ぶとともに、「地域に必要とされる包括的なケアシステムとはどのようなものなのか」について、地域での支援活動に携わっておられる関係者とともに考えていくものであります。

講義 ①

川崎市の自殺対策 — 特徴と発展可能性 —

講師／竹島 正

(川崎市精神保健福祉センター 所長)

講義 ②

連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』の活用方法について

講師／大塚 俊弘

(国立精神・神経医療研究センター 上級専門職)

講義 ③

民間組織や宗教関係者との連携について

講師／藤薮 庸一

(白浜レスキューネットワーク 代表)

フロアー討議

「川崎市でのワンストップ支援を考える」

ファシリテーター／大塚 俊弘

助言者／藤薮 庸一 竹島 正



■ お問い合わせ：

川崎市精神保健福祉センター
植木 ☎ 044-200-3199

平成29年11月10日(金)

9:00 ~ 12:10

川崎市中心部リハビリテーション
センター(井田障害者センター)

川崎市中原区井田3丁目16-1

共 催：一般社団法人 日本うつ病センター (JDC)
川崎市精神保健福祉センター

ワンストップ支援を考える地域セミナー

- 1 日 時： 平成29年11月10日(金) 9:00~12:10
- 2 会 場： 川崎市中部リハビリテーションセンター 2階 共用会議室
(川崎市中区井田3丁目16-1)
- 3 対 象： 地域包括支援センター職員、障害者相談支援事業所職員、医療機関職員、いのちの電話職員、川崎市職員 等
- 4 共 催： 一般社団法人 日本うつ病センター (JDC)
川崎市精神保健福祉センター
- 5 内 容：
 - (1) あいさつ 09:00 ~ 09:05
 - (2) 川崎市の自殺対策 - 特徴と発展可能性 - 09:05 ~ 09:20
講 師 : 竹島 正 (川崎市精神保健福祉センター 所長)
 - (3) 『ワンストップ支援における留意点』の活用方法について 09:20 ~ 10:10
講 師 : 大塚 俊弘 (国立精神・神経医療研究センター 上級専門職)
 - (4) 民間組織や宗教関係者との連携について 10:10 ~ 11:10
講 師 : 藤薮 庸一 (白浜レスキューネットワーク 代表)
 - (5) フロアー討論 「川崎市でのワンストップ支援を考える」 11:20 ~ 12:10
ファシリテーター: 大塚 俊弘
助 言 者 : 藤薮 庸一、 竹島 正

◆ JDC

(一般社団法人 日本うつ病センター)

1978年、全国の大学精神科教授を中心に、任意団体『うつ病の予防と治療のための委員会(JCPTD)』として発足。うつ病および関連疾患に関心を抱く医師・コメディカルスタッフへの情報提供、うつ病やその他の心理的障害に悩む一般市民の方々に適切なアドバイス・支援の方法を伝える啓発活動を中心に事業を展開し、2010年に一般社団法人となる。現在は、啓発活動の他、六番町メンタルクリニックにおいて診療を行うとともに、職場のメンタルヘルス・サポート事業にも取り組んでいる。

2016年より、厚生労働省の自殺予防対策事業の採択を受け、「ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり」に着手。自殺ハイリスク者への支援に関与する多様な領域の相互協力により、有効な支援の構築に貢献していくことを目的に、連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』を作成。

連携支援のための手引き

『ワンストップ支援における留意点 - 複雑・困難な背景を有する人々を支援するための手引き - 』

特徴的な部分は、第2章「課題別支援のポイント」と第3章「関係機関との連携のポイント」で、各課題について、基本的な知識や情報、専門機関との連携上の留意点を簡潔に記載してある。

課題別に、その問題を抱えた人々の支援に関わる可能性がある者なら誰でも知っておくべき9~10のポイントを挙げ、簡単な解説を加えてある。

記載されている主な課題は、「生活困窮」、「依存症」、「多重債務」、「DV被害」、「幼少期の逆境体験」、「自殺未遂」、「自死遺族支援」など。

JDCのホームページからダウンロードも可能。

<https://www.jcptd.jp/suicide.html>

◆ NPO 法人 白浜レスキューネットワーク

南紀白浜の名勝「三段壁」で1979年より開始された自殺予防活動『白浜いのちの電話』を引き継ぐ形で1999年に発足、2006年にはNPO法人格を取得。

自殺を考えている人々への相談対応の他、共同生活の場を提供しながら生活再建、就労支援、医療支援、借金に対する法的支援などの活動を展開している。

